

蒲郡市民病院 地域医療連携室だより vol.23

発行／地域医療連携室 TEL 0533-66-2307 / FAX 0533-66-2308

4月から放射線治療を再開します

当院では平成9年（現市民病院移転時）から放射線診療科を新設し、放射線治療を実施しています。このたび、がん治療のための最新の放射線治療装置を更新し、4月から稼動することとなりました。この装置の導入により、3次元CT画像を駆使した高精度の治療が可能となります。

がんの治療 一般的には「手術療法」「化学療法」

とともに、「放射線療法」が、がんの三大療法として知られています。また、放射線療法は目的に応じて「根治療法」「緩和療法」の2つに分けられ、根治療法は、がんの完全な治療を目的とし、臓器の形態や機能を温存して病気を治癒させることが可能です。緩和療法は、痛みなどを緩和するために行い、骨からの疼痛がある場合や神経症状の改善に有効です。放射線治療は、高エネルギーの放射線を局所的に使用し、がんを縮小させたり、成長を遅らせる治療法で、手術療法と異なり、患部を切除しないため、がんに侵食された臓器の機能・形態の温存も可能、身体への負担が少なく高齢者にも適応できるやさしい治療法といわれています。

治療の期間 通常行われる一般治療では高エネルギー放射線を週5日、少しずつ一定期間照射し、病態や病状により異なりますが、1週間から6週間ほどかかります。回数や頻度は治療の目的や全身の状態などによって決まり、通常的生活をしながら通院での治療も可能です。また、脳外科で特定の脳腫瘍に短期集中的に放射線治療を行う「脳定位放射線治療」では、頭部を高精度なシステムで固定し放射線を照射します。照射は1日のみですが、2～3日の入院が必要となります。

費用の目安 治療費は一般的な30回程度で約10万～15万円、保険適用（3割負担）なら3万～4万5千円程度で治療が可能です。脳定位放射線治療は63万円（他の入院料等含まず）で、保険適用で約19万円となります。医療費が高額になりそうな時は、限度額適用認定証をご利用ください。

当院における放射線治療 今後も蒲郡市及び近隣地域への医療貢献の一つとして、新しい放射線治療装置の運用をはじめ、高度で安心な医療の提供ができるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



当院の最新の放射線治療装置

地域医療連携ミニギャラリー 第5回

毎回ご好評をいただいていますミニギャラリー今回は、さとう子供歯科医院の佐藤院長より、ご紹介いただきました。

拾い集めた流木をパズルのように組み合わせて作られた、世界にひとつだけの流木額。そこには、身近な野鳥の写真が納められており、まるで木の間からバードウォッチングをしているような楽しさがあります。ぜひ、ご覧ください。



期間 3月1日～4月30日
撮影・作 佐藤なな江様（竹谷町）

裏面もご覧ください

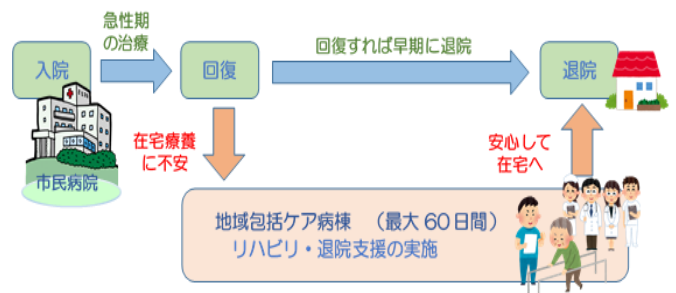
地域包括ケア病棟で『治し支える医療』を実践しています！

地域包括ケア病棟は手術や検査など、急性期の治療を終えた後、すぐに在宅や施設へ戻ることによる不安のある患者さんに対して、最大 60 日間の入院療養を継続し、安心して住みなれた地域へと戻っていただけるよう『準備を整える』ための病棟です。

理学療法士や退院支援看護師、社会福祉士等が、在宅での生活を見据えた退院支援を行っています。平成 28 年 10 月には 47 床から 107 床に増床して運用しており、平成 29 年 1 月には、前年の 2 倍近い入院利用がありました。在宅患者等一時入院（レスパイト入院）の受入れも行っており、高齢化が進む蒲郡市において、必要とされる病棟です。

地域包括ケア病棟の利用状況

	H28.1 月	H29.1 月
運用病床数	1 病棟 47 床	2 病棟 107 床
入院実患者数	83 名	163 名
平均在院日数	24.2 日	23.0 日 (注 1)
在宅復帰率 (注 2)	80.2%	85.6%



(注 1) 平均在院日数は、抜釘・手術のための短期入院患者は除いて算出 (注 2) 直近 6 ヶ月の平均

2/2

第4回 地域医療連携交流会を開催しました

去る2月2日(木)午後7時から、蒲郡市医師会及び歯科医師会の先生方をお招きして『地域医療連携交流会』を開催いたしました。

『顔の見える連携』として始まった交流会は、今年度で4回目を数えます。当日は、医師会からは井野会長始め 13 名、歯科医師会からは酒井会長始め 7 名の開業医の先生方が参加されました。当院医師や看護師、市役所長寿課(地域包括ケア推進室担当)も参加され、総勢 88 名の大変にぎやかな交流会となりました。

交流会では、「二次医療圏(東三河南部)における蒲郡市民病院 ～DPC公開データを用いた医療圏分析など～」と題して、地域医療構想などでも使用されている医療データの活用方法や、分析することで見えてくる蒲郡市や東三河南部医療圏の特徴などを、当院の医事課職員から説明をさせていただきました。また、蒲郡市歯科医師会会長の酒井基裕先生からは、「歯周病と全身疾患との関わり」についてご講演いただきました。具体的な症例を挙げてご紹介いただきながら、口腔ケアの充実が、予病や健康(健口)に必要なことを学ぶことができました。参加された医師会、歯科医師会の先生方をはじめ当院医師、看護師も熱心に聴講されていました。引き続き行われた懇親会においては、参加された先生同士の和やかな歓談や情報交換がされていました。これからも『顔の見える連携』を進めてまいります。今後ともよろしくお願ひします。



酒井歯科医師会長による講演のようす